



特集

第3次川口市男女共同参画計画

## 10年後の姿を考え、 行動してみませんか？

「男女の人権が尊重され、  
共に社会に参画できるまち 川口の実現」



Interview

株式会社 LUYL (ライル) 代表

布施田 様子さん

## 第3次川口市男女共同参画計画

# 10年後の姿を考え、行動してみませんか？

～「男女の人権が尊重され、共に社会に参画できるまち 川口の実現」～

最近、私たちにとって「当たり前」だったことや「世の中の景色」が少しずつ変わっているように感じませんか？例えば、大学での女子理系枠が増えたことや学ランを着て応援する女子応援団がいること、制服を選ぶ際、女子生徒がスカートではなくズボンを選択するなどです。みなさんの周りではどうでしょうか？さらに、男性的な働き方を変えていく動きもあります。今年の4月に出された「第3次川口市男女共同参画計画」が目指すものについて一緒に考えてみませんか？

### ■第3次川口市男女共同参画計画ってなんだろう？

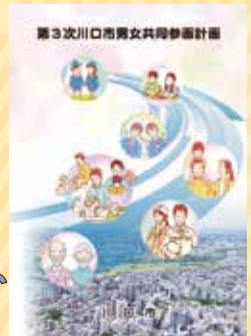
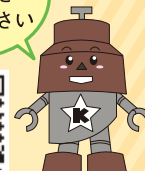
#### 1. これまでの経過

平成24(2012)年度に制定された「川口市男女共同参画推進条例」に基づき策定されています。令和4(2022)年度に第2次男女共同参画計画が終了しました。

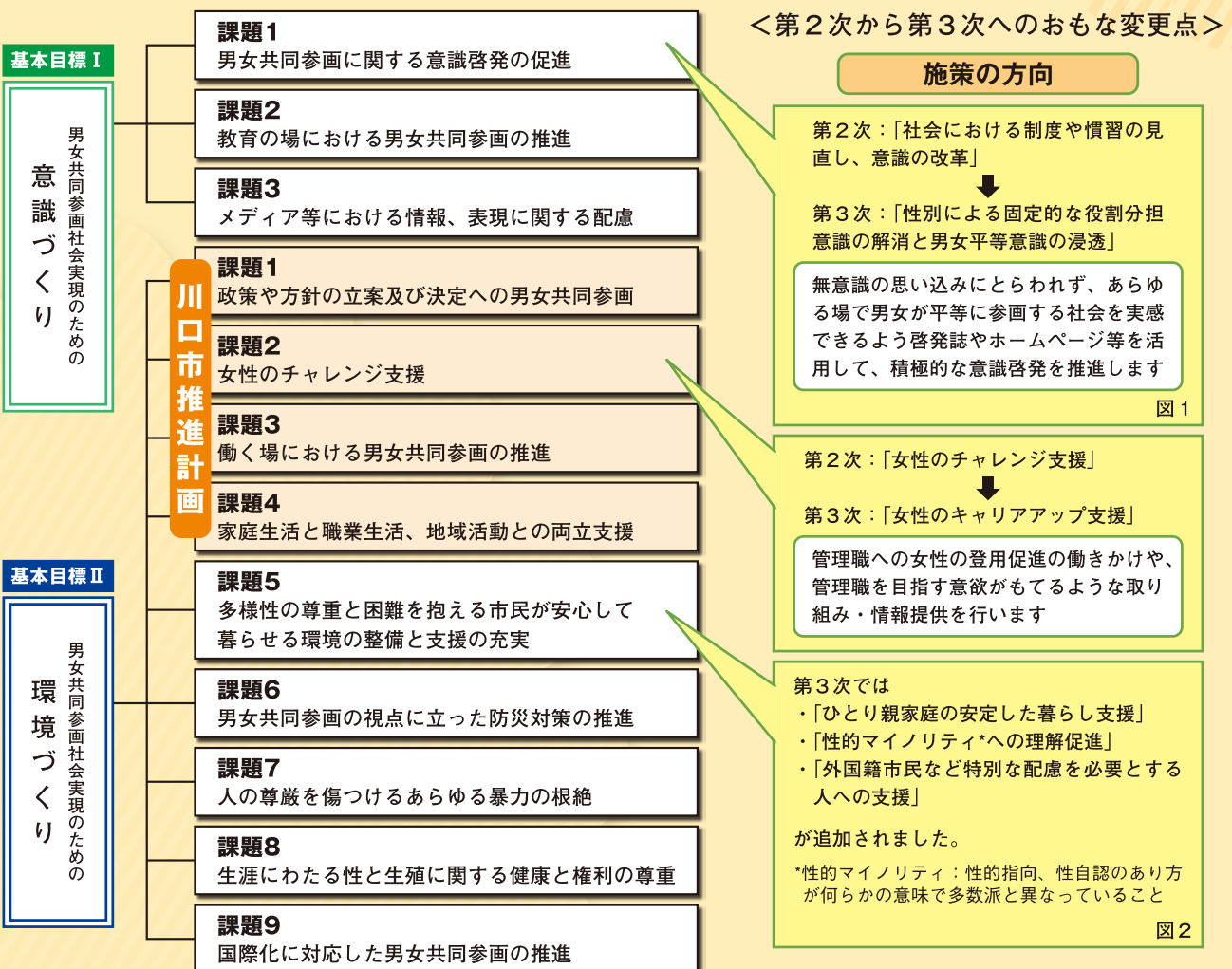
#### 2. 計画の期間

令和5(2023)年度からの10年間で計画期間となっており、概ね5年で見直しを行っています。

詳しくはこちらをご覧ください

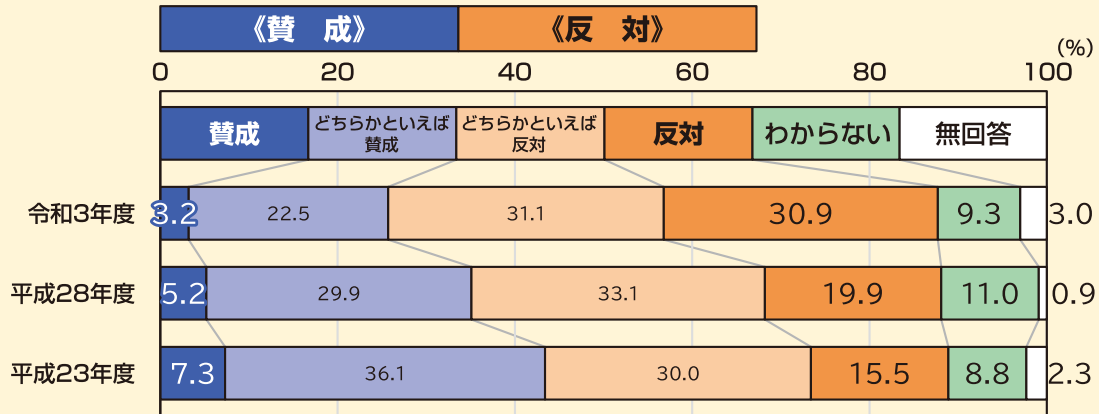


### 基本理念 男女の人権が尊重され、共に社会に参画できるまち 川口の実現



## ■「男は仕事、女は家庭」という考え方について（経年変化）

図 1

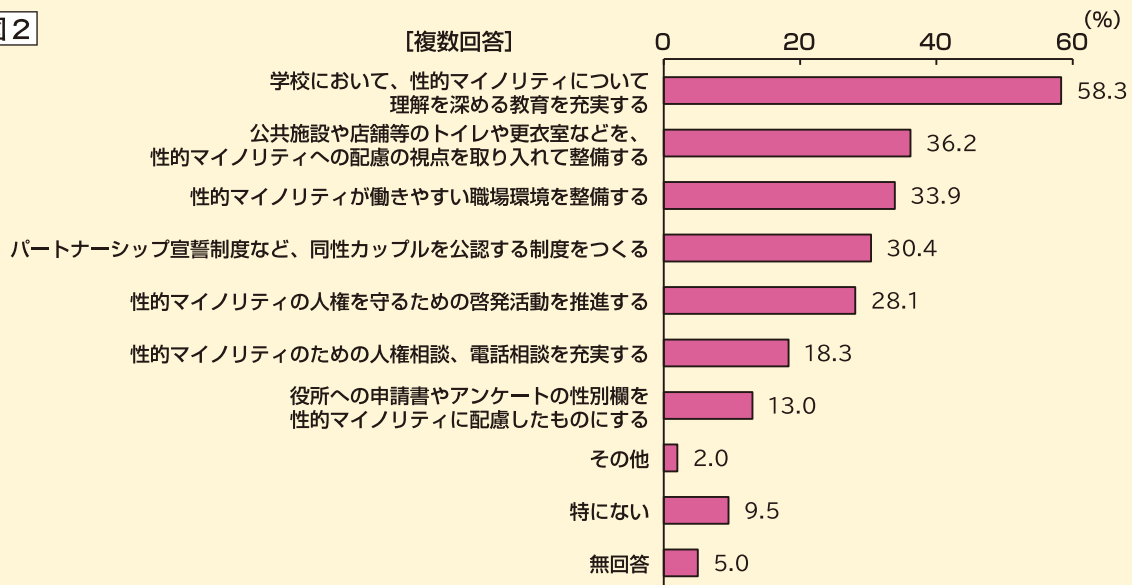


資料：川口市「令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」

◎平成23年度を見ると《賛成》と《反対》がほぼ同じ割合でしたが、10年後の令和3年度では《賛成》が25.7%、《反対》が62.0%となり、性別による固定的な役割分担意識が解消しつつあります。

## ■性的マイノリティの人権を守るために必要と思われること

図 2



資料：川口市「令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書」

ご覧いただいているコ・ラボは、「意識づくりー課題1：男女共同参画に関する意識啓発の促進／課題2：教育の場における男女共同参画の推進」この2つの課題解決に向けた具体的な施策の一つです。

また、P6セミナーREPORT!で掲載している「男女共同参画のつどい」のテーマは、「課題5：多様性の尊重と困難を抱える市民が安心して暮らせる環境の整備と支援の充実」に対する具体的な施策の一つです。

## ■まとめ

近年の社会の在り方として求められている項目は、今回の「第3次川口市男女共同参画計画」に反映されているものの、計画だけ立案するのでは意味がありません。男女共同参画社会の実現には、市民、事業者、市が互いに協力することが必要です。性別にかかわらず、あらゆる場において一人ひとりが個性や能力を十分に発揮し活力ある社会を形成できるよう意識していきましょう！



私たちは誰しも、それぞれの個性を持ち、それぞれの事情を抱えながら日々生活しています。みなさんにとって、今の社会は“生きやすい”ですか？今回は川口市を拠点として、誰でも、どんな時でも生きやすい社会を目指し、インクルーシブデザイン<sup>※</sup>の靴の企画・販売や、その考え方の普及に取り組む起業家、株式会社 LUYL の代表・布施田祥子さんに話を伺いました。

※インクルーシブ(包括的)デザイン：デザインの初期段階から、障がい者をはじめとするマインオリティなど、従来のデザインプロセスから除外されていた人を巻き込み、当事者の気づきや意見を活かしながらデザインを行っていくイギリス発祥の手法のこと。



株式会社 LUYL 代表

HUSEDA SACHIKO

布施田 祥子さん

2011年、第一子を出産後に脳出血で倒れ、左手足に麻痺障害が残る。その後2015年に持病の潰瘍性大腸炎が悪化し大腸を全摘。当事者の視点を活かし“下肢装具を装着していても履けるオシャレな靴”を販売する「Mana'olana (マナオラナ)」を設立。インクルーシブデザインの考え方を広めるため、企業コンサルティングや講演、教育関連プロジェクトへの参画など、幅広く活動を行なっている。

### ◆障がい当事者として感じた、 選択肢の少なさ

大病を患い、2016年に障がい者雇用枠で就業しました。人間関係も働く環境もとても良い職場でしたが、自分にできる仕事が限られてしまうことに悩み、入社して数ヶ月すると、もっと自分らしく働きたいと思うようになりました。生活の面でも、さまざまところで選択肢の少なさを感じており、これはおかしい！と考えたことが起業のきっかけです。自分にとっては、歩行に必要な下肢装具をつけていても履けるおしゃれな靴がなかったことが悩みとしてあったので、それなら自分で作ってみようというのが、今の仕事に繋がりました。

### ◆誰でも、おしゃれを楽しめる靴を

私たちが作っているのは、障がい者のためではなく、障がい者“も”履ける靴です。例えば、パンプスでは、片手でも履きやすいストラップを使用したり、下肢装具を着用していても履ける靴幅、歩く力が弱くても滑りにくい靴底にしたりと工夫をしています。また、男性用の革靴では誰にでも着脱が容易なマグネット式バックルを採用し、グッドデザイン賞を受賞しました。デザイン性を重視し、そこに機能性を付け加えることで、障がいの有無にかかわらずおしゃれを楽しめる靴になっています。障がいがあっても、「外に出たい」と思うきっかけになればいいなと思っています。

### ✕取材を終えて

今が一番楽しい、と笑顔で語られていたことがとても印象的で、何事も捉え方次第なのだと思え、勇気づけられるインタビューでした。

### ◆選択肢のある日常を当たり前

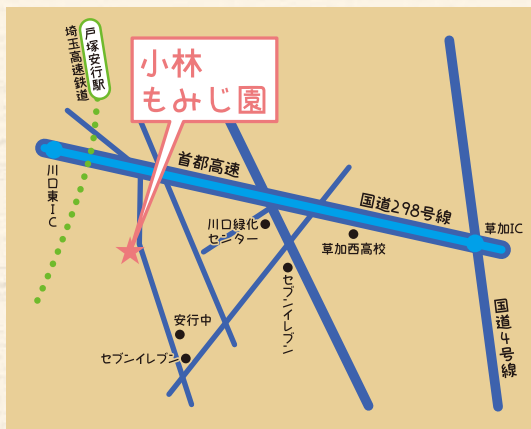
現在は靴づくりのほか、企業の取り組みへのコンサルティングや、講演、学校での授業などを通して、「インクルーシブデザイン」という考え方をより広く普及させる活動も行っています。インクルーシブデザインは、製品などのモノだけではなく、働き方やサービス、システムなどにも取り入れられるものです。企業がそういった視点を取り入れると、多くの人にとっての選択肢が広がり、使いやすさ、ひいては生きやすさにつながります。ただ、現状では企業側の理解が足りなかったり、誤解されていたりといったこともあります。海外では日本よりも普及が進んでいて、あえて強調していなくても、実はいろいろな工夫がなされていることも多いですね。当面の目標は、今の仕事を継続していくことです。将来的には、この仕事が必要なくなるくらい、選択肢のある日常が当たり前になるのが理想ですね。誰でも、どんなときでも生きやすい社会になればいいなと思っています。







## 小林もみじ園



住所 埼玉県川口市安行領家325  
 開園時間 9時～17時  
 入園料 無料  
 駐車場 あり (10台) 無料  
 問い合わせ先 048-295-1491

## 美しいもみじが茂る小路を散策

もみじ・かえで専門の植木屋を営みながら、3000坪以上におよぶ敷地を一般開放している小林もみじ園。その歴史は江戸時代にまで遡ります。園内では400種類以上のもみじやかえでが栽培されており、自由に見学することができます。もみじといえば秋の紅葉を思い浮かべますが、春の芽吹きの際訪れるのもおすすめ。さわやかな新緑の木々や、春先に紅葉する品種などを楽しみることができます。園を管理する小林さんご家族に出会ったら、ぜひ話しかけてみてください。豊富な知識から、興味深い話を聞かせるかもしれませんよ。



見頃：(春)4月～5月初旬頃、(秋)11月下旬頃



## パイオニアの伝記とエッセイ

### 日本の伝記 知のパイオニア 荻野吟子とジェンダー平等

堺正一 著 玉川大学出版部

「埼玉県三偉人」の一人として「さいたま郷土かるた」などで県民の間でよく知られている荻野吟子は、日本で初めて近代医師養成制度のもとで医師になった女性。

本書では、彼女の生い立ちとジェンダー平等について述べられています。男尊女卑や三従の教えなどに疑問を抱きながら自分の生き方を追い求めていました。女性の名前は二文字(例えば、フコ、ハマなど)が当たり前とされていた明治時代、自らの名前を吟子に改めたこと、あるいは、医師を目指した当初、試験に応募を断られたことなど、女性だからということだけで機会を失うことに疑問を抱き、その昔、ジェンダー平等に取り組んでいたことが分かります。(参照、『Co-Labo No.63』)。



### つながる力。看護ケアをひらいた 92歳のチャレンジ

季羽倭文子 著 青海社

本書のあとがきに「私は現在92歳、心身共に健康で、高齢者住宅で暮らしています。卒寿目前にしてエッセイを学び始め、四年たちました。」とビックリするような表現があります。また、別の箇所には「パソコンは今の私の暮らしにとって、欠かせない道具だ」と。これこそ人生100年時代の台詞と言えるのではないのでしょうか。コロナ禍での暮らし、花を育てる喜び、伴侶との永遠の別れ等、エッセイを通して筆者の人柄について触れることができます。さらに読み進めると、筆者が「死の看護」(『Care of the Dying』メヂカルフレンド社)を訳出した人で、今でこそよく耳にする訪問看護、ホスピスケアと言われる新たな領域を切り拓いたパイオニアであることを知ることができます。



## 最新AI技術との付き合い方

チャットジーピーティー

会話型AI「ChatGPT」が話題になってから、毎日のようにAIに関する話題がメディアに登場するようになりました。高度なAI技術で解決することが増えた一方、AIが作ったフェイク画像が本当のニュースのように報じられるなど、考えなくてはならない問題も出てきています。

AIに限らず最新技術の活用は、時間的、肉体的な負担を減らすことで、私たちの暮らしを快適にしてくれるだけでなく、より生産性の高い活動を行うことができる手助けとなります。

今まで技術や体力がないと働くことができなかった職業に挑戦することができるようになり、また、独創的なアイデアを形にしやすくなったことで、自分らしい働き方を選び、活躍できる機会は今後増えていくでしょう。

デジタル技術は非常に速いスピードで日々進化し改善されていきます。新しい技術はまず実際に体験し、自分なりの活用の仕方考える必要があります。間違いないか、他人を傷つけたりしていないか気を付けながら、よりよい使い方を見つけていきたいですね。







教えてきゅぼらん!

子どもの疑問を解決! なぜなに相談コーナー  
5歳の女の子からの質問に答えよ!

『少子化問題ってなに?』



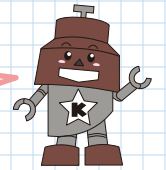
テレビでよく「少子化問題」って言葉ことばをきくけど、なに?—

赤ちゃんあかちゃんの生まれる数かずが減へることで、将来的に日本にほんの人口じんこうが減へってしまうことことだきゅぼ。



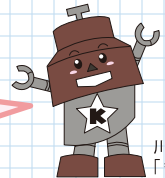
いま日本にほんには1億2000万人まんにんの人がいると聞いたけど、このままだと減へっちゃうのかあ。どのくらい減へっちゃうの?

毎年80万人まんにんずつ減へって、33年後には1億人を切きってしまうんだきゅぼ。人口じんこうが減へると国の力ちからが衰おとろえて元気がなくななっちゃうきゅぼ。



ふーん、シンコクもんたいな問題もんだいだね。

2024年度ねんどからさまざましやうしな少子化対策かたいさくが動き出す予定よていなんだきゅぼ。たとえば、出産手当しゅつさんてあてや児童手当じどうてあて、保育支援ほいくしえん、奨学金しやうがくきんなどもっと手厚てあつくし子育て世帯こどもをばやしを応援おうえんしようとしているんだきゅぼ。



川口市マスコット「きゅぼらん」

(注) 国立社会保障・人口問題研究所が2023年4月に公表した「将来推計人口」を参考にしました。

イベントREPORT!

こんなイベント参加しました!

編集委員レポート

## 川口市男女共同参画のつどい 「となりのトランスジェンダー」 — 元なでしこリーグ女子サッカー選手に聞く —

令和5年6月24日(土) 14時~15時30分

会場: かわぐち市民パートナーズステーション キュポ・ラ本館棟M4階会議室

主催: 川口市

今回は元なでしこ女子サッカー選手で、YouTuberとしても活躍している3人組・ミュタントウェブ。さんを迎え「となりのトランスジェンダー」と題して講演が行われました。会場には約60人が詰めかけ、大変盛況でした。

ミュタントウェブ。は、大嶋悠生さん、山本朝陽さん、大川政美さんの3人で活動しています。TVやラジオなどのメディア出演のほか、企業研修、イベント参加、ジェンダー教育などに活躍中です。

講演ではLGBTQ(性的マイノリティ)に対する偏見や差別をなくし、みんなが理解しあい多様性を尊重する社会をめざしましょうと、ユーモアを織り込みながら熱く語っていました。

アスリート、女性、男性という3つの世界を生きる3人の話は、体験をもとにしたものなので説得力がありました。講演を聞いてあらためてトランスジェンダーに対する考えを深めるきっかけになりました。

受講者の声

大嶋さんたち3人の話は前向きで楽しいものでした。話し方が明るくて歯切れがよく、最後までひきつけられました。



参考サイト: (埼玉県) LGBTQ基礎知識ガイド [https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/223558/saitama-lgbt-phanflet\\_2021\\_revised-v2.pdf](https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/223558/saitama-lgbt-phanflet_2021_revised-v2.pdf)

# Kawaguchi News Report

## 世界経済フォーラムが「ジェンダーギャップ指数2023」を公表しました。

ジェンダーギャップ指数は、「経済」「教育」「政治」「健康」4つの分野のデータから作成され、0が「完全平等」、1が「完全平等」を示しています。

日本は特に「経済」及び「政治」における順位が低くなっており、経済の順位は146か国中123位(前回121位)、「政治」の順位は146か国中138位(前回139位)です。

この結果から、各国がジェンダー平等に向けた取り組みを加速している中、日本は対応に後れを取っていることが分かります。

### ジェンダーギャップ指数(2023) 上位国及び主な国の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
15	英国	0.792
30	カナダ	0.770
40	フランス	0.756
43	アメリカ	0.748
79	イタリア	0.705
102	マレーシア	0.682
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

内閣府男女共同参画局ホームページ  
「男女共同参画に関する国際的な指数」より

## ○DVに関する相談先

### 川口市配偶者暴力相談支援センター

#### 窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です

☎ 048-299-8162

#### 女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

### その他の相談先

川口市役所 市民相談室

※法律相談、ファミリー相談等(予約制)

月～金(祝日・年末年始を除く)  
8:30～17:15

☎048-259-9037  
☎048-259-9038

最寄りの警察署(生活安全課)

月～金(祝日・年末年始を除く)  
8:30～17:15

川口警察署 ☎048-253-0110  
武南警察署 ☎048-286-0110

### 緊急の時は110番!

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDVといいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- 何を言っても無視する
- 交友関係を制限する
- 避妊に協力しない
- 性行為を強要する
- 生活費を渡さない
- 暴言を吐く

☑(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。  
一人で悩まずに、まずはご相談ください。

### 男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>



市役所からのお知らせ



## 川口市「育児をシェア!!～みんなで楽しもう～」 フォトコンテスト 作品募集中!

◎家事・育児シェアとは「お手伝い」とは違い、  
祖父母・パートナー・子どもにも主体的に家事・育児に取り組んでもらうことです。

みんなが率先して家事・育児を楽しんでいる  
ことが伝わってくる写真をお待ちしております。



令和4年度 優秀賞  
「おてっだいする～」



令和4年度 市長賞  
「初節句 ひいジジ、バアバと  
一緒に歩けるかな!」



令和4年度 優秀賞  
「パパと初めてのお留守番」



※令和4年度 川口市「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテスト受賞作品の一部です。



受賞者には、  
オリジナルカレンダーと  
美味しいペーゴマクッキー  
詰め合わせをプレゼント!!

### 募集要項

家事・育児を楽しみながら  
行っていることがわかる写真

※必ず被写体の了承を得てから作品を応募してください。

#### ■応募資格

川口市に在住または在勤で家事・育児に参加している「パパ、ママ、ジジ、バアバ」

★子どもの年齢は応募日現在0歳～小学校6年生まで

★写真は1年以内に撮影したもの、1人1点まで

★応募作品は自作・未発表のもの

#### ■応募方法

応募用紙に、2L判サイズ(127mm×178mm)の  
写真を添えて、協働推進課 男女共同参画係  
まで郵送または直接持参。

応募用紙は、男女共同参画コーナーで配布。  
市ホームページからダウンロードも可。

#### ■応募締切

令和5年11月7日(火)必着



#### ■発表

令和6年2月17日(土)

フレンドピアで開催する「COLORFULふえすた  
～男女共同参画イベント～」で応募作品の展  
示と受賞作品の表彰を行います。

※入賞作品については、市内施設等で掲示します。

また、受賞作品は市ホームページ、情報紙等に掲載します。  
あらかじめご了承ください。

## 事務局

川口市 市民生活部  
協働推進課

〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階  
TEL 048(227)7605 FAX 048(226)7718

### 編集後記



市民編集委員 ※五十音順  
鈴木・田中・中尾・沼尾・三山・山谷

◆これからも、コ・ラボをご覧くださいことで市民のみなさんと共に男女共同参画を学んでいけるような紙面を作っていきたいです。(鈴木) ◆今回特集を通じて「川口市男女共同参画計画」に初めて触れたことで、市の意気込みを知るきっかけになりました。皆さんも機会があれば目を通してみてください。(田中) ◆用語“ジェンダー”を多くの人が日常的に用いるようになれば、身近な課題として理解が深まるでしょう。(中尾) ◆小さな変化の一步が世の中を変えていく原動力になることを感じ、また、気づきを大切にすることを改めて実感しました。(沼尾) ◆今から10年後には、男女共同参画という考えが、もっと当たり前になり世の中に浸透していると良いと思います。(三山) ◆秋が旬の魚は鯖。塩焼き、みそ煮、しめ鯖、干物。脂がのってみんなおいしい。でもサバと聞くと思い出すのは人生劇場・尾崎士郎の酔訓。「青いは鯖の肌にして、黒いは人の心なり」(山谷)